

令和 7 年度 堺市立図書館サービス評価

堺市立図書館

評価：堺市立図書館協議会

令和 8 年 6 月

内 容

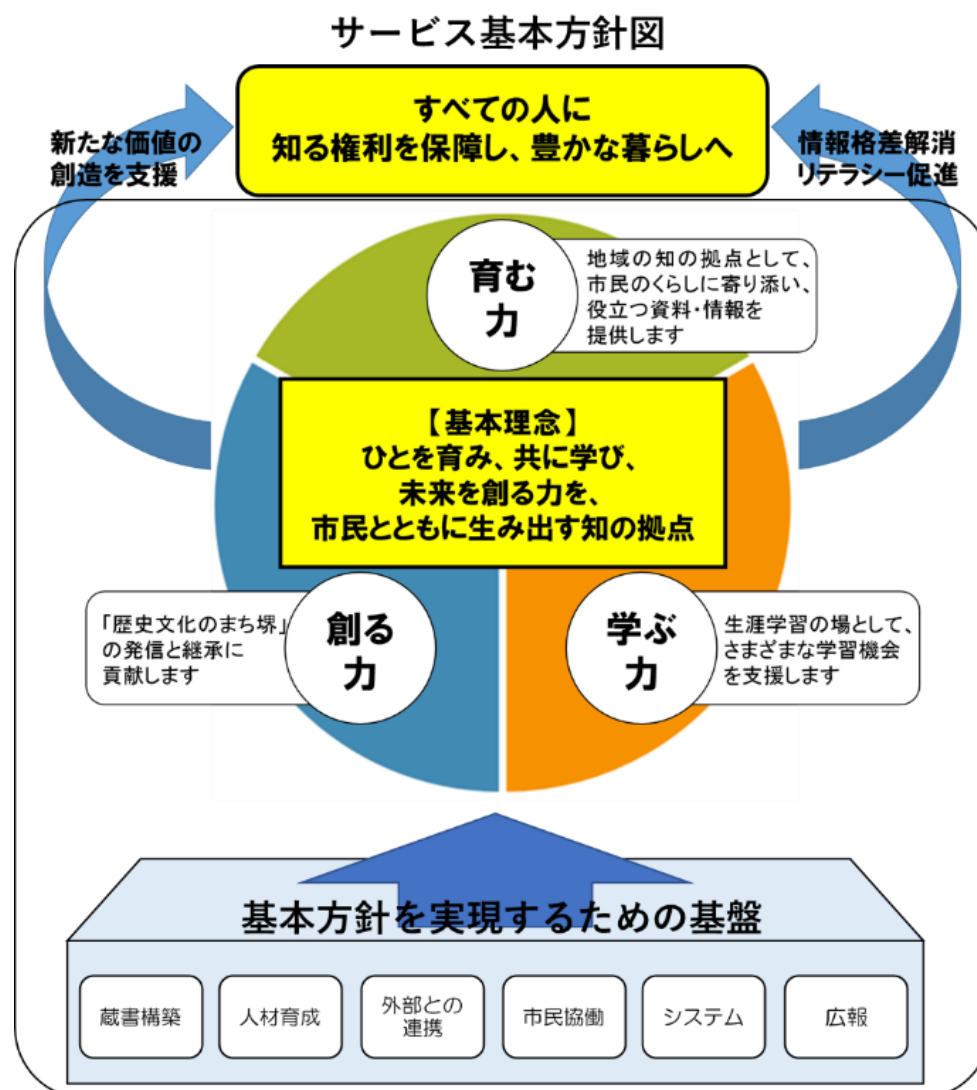
I サービスの基本理念と方針	2
サービスの基本理念と方針	2
図書館サービス評価とは	5
堺市立図書館協議会の評価（意見）について	5
基本指針の位置づけと図書館ネットワーク.....	6
図書館ネットワークの機能整理	6
II 各区について	7
各区の基本データ（令和7年4月1日時点）	7
各区プラン及びその基本的指針	7
各図書館の施設について	9
定例的指標（指標別） ※カッコ内は区民千人当たりの数値.....	9
取組の記載内容について	11
III 令和7年度 図書館全体での取組	12
IV 令和7年度 各区図書館の取組	14
堺 区	14
中 区	16
東 区	18
西 区	20
南 区	22
北 区	24
美 原 区	26
V 図書館協議会委員からの評価（総評・次年度に向けての要望等）	28
【資料】 図書館活動実績	29

I サービスの基本理念と方針

堺市立図書館は、「図書館法」「文字・活字文化振興法」「子どもの読書活動の推進に関する法律」に定められた基本理念をもとに、市民が文化的でうるおいのある生活を営むための情報や資料を提供しています。また、地域の未来の発展に資するため、堺の伝統と文化を受け継ぐ情報資産を蓄積、保存し、次世代に承継するという使命を担っており、地域に関する情報を積極的に収集、提供しています。

図書館は、中央図書館を中枢として6区域館と5分館で構成されており、他に2図書施設、移動図書館、図書館カウンター堺東を加えて図書館情報ネットワークシステムを構築しています。その他、電子書籍提供サービスの実施等、ICTを活用したサービスによる利用者の利便性向上を図っています。

また、「中央図書館基本指針～図書館サービス機能の向上のために～」(令和2年7月策定)において、基本理念「ひとを育み、共に学び、未来を創る力を、市民とともに生み出す知の拠点」のもと、3つの基本方針である「育む力」「学ぶ力」「創る力」により、すべての人に知る権利を保障し、豊かな暮らしの実現を支援します。



○基本方針（１）【育む力】

地域の知の拠点として、市民の暮らしに寄り添い、役立つ資料・情報を提供します

図書館は、ひとが幼いころから本に親しむ環境を整備し、豊かな心を育みます。さらに、本を読むことで知識を得ること、さまざまな資料・情報を使って調べることで、変化の激しい現代社会を生きていく力を養う場でもあります。

図書館が収集し、提供する資料・情報は、市民の暮らしに役立つものです。暮らしの中でわからなかったり困ったりする課題について、図書館はその課題を持つ市民に寄り添い、資料・情報を活用することで解決する過程を、具体的にわかりやすく提示します。

サービスの具体的な方向性	① 市民の読書環境の充実にさらに努めます。
	② 暮らしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
	③ さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。

○基本方針（２）【学ぶ力】

生涯学習の場として、さまざまな学習機会を支援します

図書館は、ひとがその生涯において、いつでも学びに行くことができる場所です。子どものころから図書館に親しみ、ライフステージに応じて図書館を使いこなしていくことで、豊かな学びを持続することができます。また、インターネットなどを通じて、いつでも・だれでも・どこからでも情報にアクセスできるようにすることで、さまざまな学習機会を支援していきます。

サービスの具体的な方向性	④ 子どもと一緒に安心して楽しく利用できる環境を整備します。
	⑤ 学校と連携して学びを支援します。
	⑥ 青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。

○基本方針（３）【創る力】

「歴史文化のまち堺」の発信と継承に貢献します

図書館には、その地域の歴史・文化を伝える資料を残していく役割があります。市民が、堺の歴史文化を学び、世界に向けて発信していけるよう、資料を保存し、活用・発信の手法を整えます。

これからの図書館は、図書館の資料・情報を活用し学習した市民が、その成果を活かしたさまざまな活動、交流を図書館で行えるよう、支援していくことが求められます。

市民が自発的に活動、交流するために、図書館は必要な情報と環境を用意します。テーマに応じて専門家や専門機関、市の関連部局等とも連携し、市民とのマッチングを行うなど、市民交流の場をコーディネートします。

堺の歴史文化を次代に継承して活かしていく上でも、多様な世代が交流する場を設けることで地域の記憶の継承に繋がります。

そして、資料・情報の活用をもとに、多様な人々が出会い、交流し協働することから新しい価値を生み出す場を作り、新しい堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします。

サービスの具体的方向性	⑦ 堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
	⑧ 市民交流の場を作ります。
	⑨ 堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします。

●サービスの基本方針を実現するための基盤

(1). 蔵書構築	・ 資料・情報の収集と提供 ・ 蔵書の更新 ・ 重点分野の設定 ・ 保存の方針
(2). 人材育成	・ 司書の専門性の継承と深化 ・ 時代の変化、市民ニーズの多様化を踏まえたスキルの充実 ・ マネジメント能力の育成
(3). 専門家・関連部局との連携	・ 専門家との連携 ・ 関連部局との連携
(4). 市民との協働	・ ボランティア、図書館関係団体等との協働推進 ・ 市民の知識・技能を図書館運営に活用
(5). システム・ICT 活用	・ 図書館システムの更新 ・ ICT を活用した業務効率化の検討 ・ 情報環境の整備 ・ 最新技術の導入
(6). 広報活動	・ 利用目的や対象に合わせた広報 ・ 館外での広報

図書館サービス評価とは

図書館法第7条の3において「図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。」と定められており、同法第7条の4において「図書館は、当該図書館の図書館奉仕に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該図書館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。」とあります。

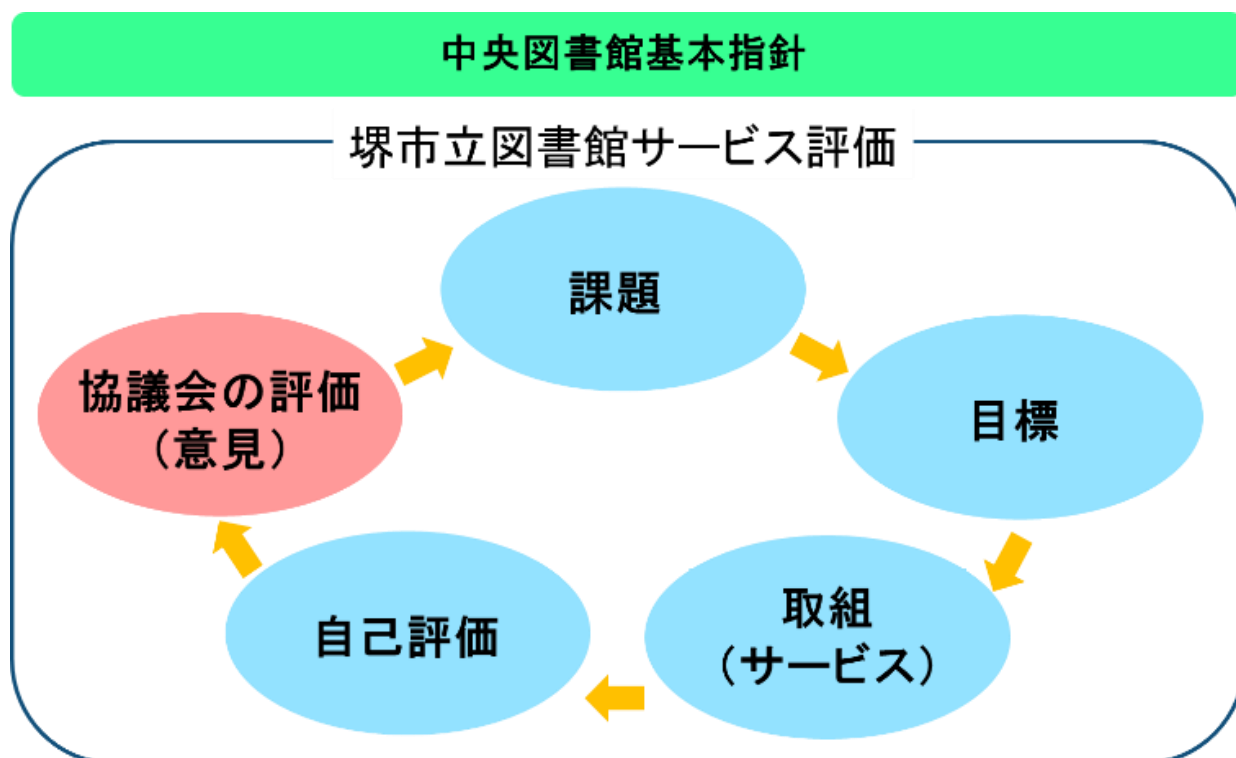
また、文部科学省が定めた図書館の設置及び運営上の望ましい基準では、「市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について目標及び事業計画の達成状況などに関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。」とされています。

これらを受けて、本市図書館では毎年実施した事業の点検及び評価として堺市立図書館サービス評価（以下、「サービス評価」という。）を実施しています。

堺市立図書館協議会の評価（意見）について

図書館法第14条2項において、図書館協議会は「図書館の運営に関し[※]館長の諮問に応ずるとともに、図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる機関とする。」と定められています（[※]「館長」＝本市においては、中央図書館長）。

本市図書館協議会からは、「図書館サービスについて館長に対して意見を述べる」役割の一つとして、前項のサービス評価作成段階において、サービス向上のための評価（意見）をいただいています。



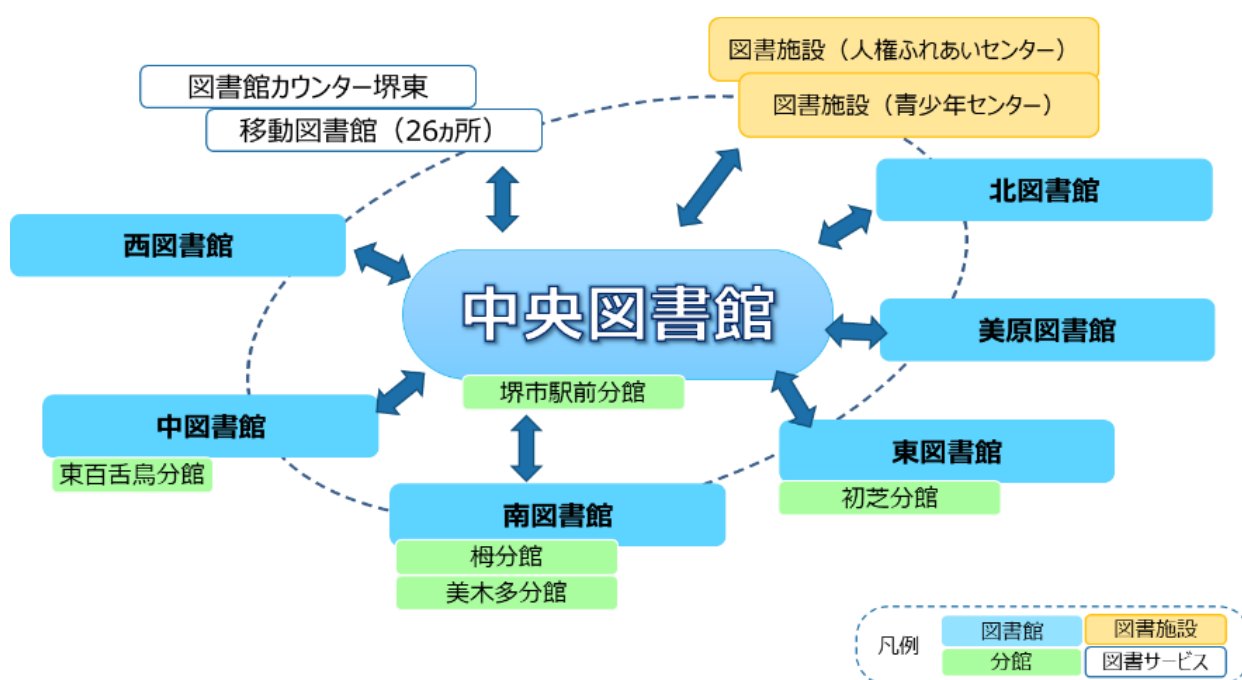
基本指針の位置づけと図書館ネットワーク

堺市のまちづくりの課題を把握し、関連する個別の施策とも連携しながら、図書館のあり方を検討するため、下記の計画などとの整合を図ります。



図書館ネットワークの機能整理

現在の図書館ネットワークを図に表すと以下のとおりです。



Ⅱ 各区について

区役所は住民にとって最も身近な行政機関であり、本市では「堺市基本計画 2025」を進める上での基本的視点として、「利便性の高い区役所の実現」を掲げ、市民サービスの向上や区それぞれの地域の実情・特性に応じた取組の実施に向けて、区役所の機能強化を進めています。

各区域図書館（分館）においても、サービスの最前線として各区の特性や取組、重点項目も踏まえた図書館サービスを実施します。

以下に、各区の基本データと主な取組を記載しています。

各区の基本データ（令和 7 年 4 月 1 日時点）

項目	堺区域	中区域	東区域	西区域	南区域	北区域	美原区域
面積(km ²)	23.66	17.88	10.49	28.62	40.39	15.60	13.20
区人口(人)	149,009	116,589	84,310	132,213	128,818	156,792	36,432
男(人)	73,667	55,603	39,915	62,871	59,036	73,223	17,549
女(人)	75,342	60,986	44,395	69,342	69,782	83,758	18,883
世帯数世帯(人)	77,213	51,400	38,100	59,672	58,598	74,622	15,382
人口密度(人/km ²)	6,298	6,521	8,037	4,620	3,189	10,051	2,760

各区の外国人人口（令和 2 年国勢調査より）

外国人人口(人)	4,177	1,213	728	1,567	2,460	1,789	552
----------	-------	-------	-----	-------	-------	-------	-----

区域別年齢別人口統計表（令和 7 年 3 月末現在。住民基本台帳（外国人住民を含む）による。）

0-14 歳(人)	15,614	14,304	10,662	16,290	13,315	19,092	4,262
15-64 歳(人)	91,978	71,046	49,861	82,647	71,514	99,031	21,483
65 歳以上(人)	39,418	32,331	25,279	35,743	46,679	38,342	11,465

各区プラン及びその基本的指針

堺区	堺区チャレンジ（Challenge）プラン 2021-2025 ～区民と共に新たなステージへ～
将来像	恵まれた歴史と文化を誇りに、地域の力で居住の魅力と活力を生み出す堺区
基本方針 1	堺区の魅力が世代を超えて伝えられ、郷土愛が育まれていること
基本方針 2	人と人とのつながりが地域を支え、活力が生み出されていること
基本方針 3	おもてなしの精神で笑顔が溢れ、誰もが堺区に満足していること
基本方針 4	すべての人が生涯にわたって、安全・安心に住み続けていること

中区	堺市中区地域計画～共感と協働で現代から次世代へ～	
将来像	～みんなが安心を感じ、魅力をつなぎ、活力を生む～成長の歩みを止めない中区	
-区政運営の方向性-	○共感と協働	○現代から次世代へ ○広報力の強化
将来像を構成する最も基本的な3つの要素		
安心（福祉・子育て・安全）	魅力（環境・歴史文化）	活力（健康・交流）

東区	堺市東区みんなで育むわがまちビジョン ～そっか、そやね、やろうよ！みんなが主役～	
将来像	人・世代がつながる 住み続けたいまち ～安全・安心、暮らしと文化～	
基本方針 1	健やかに暮らせる、安全・安心なまち	
基本方針 2	人と人がつながり、賑わいのあるまち	
基本方針 3	水と緑と暮らしが調和するまち	
基本方針 4	歴史・文化をつむぎ、育むまち	

西区	西区みらい指針	
将来像	ひと・まち・資源がつながり 笑顔かがやく 西区	
取組の方向性 1	まちの資源をつないで活かす	
取組の方向性 2	安全・安心のまちをみんなで創る	
取組の方向性 3	みんなで支え合い“地域の子”を育む	

南区	堺市南区基本計画 ～みなみスマートビジョン～	
将来像	自然とふれあい、人と人とのつながりを大切にする都市（まち）	
基本方針 1	ひとが絆を結び、安全・安心で快適に暮らすことができる都市（まち）	
基本方針 2	ひとがいいきいきと輝き、健やかに成長することができる都市（まち）	
基本方針 3	ひとが未来へと紡ぎ、魅力と誇りを育むことができる都市（まち）	

北区	北区みんなのまちビジョン	
将来像	いろんな「たのしい」でつながる街 北区 ～「たのしい」が出会い、つながり、「たのしい」で続く街～	
基本方針 1	みんなで作る安全・安心の街	
基本方針 2	みんなに関わる子育ての街	
基本方針 3	みんなで魅力をつくる・発信する街	

美原区	美原区ビジョン 2025	
将来像	“みんな”の架け橋になり、笑顔があふれるまち美原 ～さあ、一緒に挑戦しよう～	
基本方針 1	安全、安心に暮らせる	
基本方針 2	魅力的で訪れたいくなる	
基本方針 3	やってみたいが実現できる	

各図書館の施設について

区域	館名	延床面積 (㎡)	閲覧室面積 (㎡)
堺区域	中央図書館	4,634.92	一般閲覧室：915.39 こども室：154.81
	堺市駅前分館	553.67	492.54
	図書館カウンター堺東	52.59	52.59
中区域	中図書館	1,687.83	895.86
	東百舌鳥分館	347.01	248.95
東区域	東図書館	2,185.98	990.00
	初芝分館	154.48	140.48
西区域	西図書館	2,293.00	652.29
南区域	南図書館	3,153.88	1,243.70
	柁分館	206.00	189.00
	美木多分館	190.00	166.00
北区域	北図書館	2,360.00	912.60
美原区域	美原図書館	1,599.90	822.30

定例的指標（指標別） ※カッコ内は区民千人当たりの数値

貸出点数（点）	令和 6 年 3 月末	令和 7 年 3 月末	前年度比
堺区	758,062(5,083)	743,034(4,986)	98.0%
中区	339,895(2,890)	325,196(2,832)	95.7%
東区	398,285(4,726)	382,835(4,540)	96.2%
西区	319,882(2,407)	310,731(2,350)	97.1%
南区	650,001(4,961)	618,446(4,800)	95.1%
北区	500,094(3,189)	483,390(3,083)	96.7%
美原	237,672(6,480)	224,814(6,170)	94.6%
合計	3,203,891(3,963)	3,088,446(3,840)	96.4%

予約点数（点）	令和 6 年度	令和 7 年度	前年度比
堺区	42,511(285)	39,556(265)	93.0%
中区	14,191(121)	13,321(114)	93.9%
東区	25,980(308)	24,776(293)	95.4%
西区	14,161(107)	14,754(111)	104.2%
南区	47,844(365)	44,091(342)	92.2%
北区	26,293(168)	27,344(174)	104.0%
美原	10,872(296)	11,092(304)	102.0%
合計	180,502(223)	174,934(217)	96.9%

レファレンス受付件数（件）	令和 6 年 3 月末	令和 7 年 3 月末	前年度比
堺区	23,171	21,476	92.7%
中区	6,426	6,063	94.4%
東区	7,490	6,551	87.5%
西区	4,632	4,456	96.2%
南区	18,997	15,518	81.7%
北区	6,953	4,760	68.5%
美原	5,130	4,082	79.6%
合計	72,799	62,906	86.6%

来館者数（人）	令和 6 年 3 月末	令和 7 年 3 月末	前年度比
堺区	413,674	408,556	98.8%
中区	190,839	186,981	97.8%
東区	312,344	313,045	100.2%
西区	143,081	161,051	112.6%
南区	443,622	433,302	97.7%
北区	207,467	206,015	99.3%
美原	107,547	106,190	98.7%
合計	1,818,574	1,815,140	99.8%

※移動図書館は市内を巡回するため各区の統計に含めず、下記に掲載

移動図書館	令和 6 年 3 月末	令和 7 年 3 月末	前年度比
貸出者数(人)	7,931 人	8,389 人	105.8%
貸出点数(点)	34,973 点	34,131 点	97.6%
予約点数(点)	2,751 点	2,353 点	85.5%
巡回日数(日)	251 日	248 日	98.8%

※移動図書館は業務委託で運営。駐車場所数は 26 か所。巡回周期は約 2 週間。

取組の記載内容について

〇〇区

令和〇年度目標

(各区図書館の取組のみ)
区として年度内における全体の目標を記載しています。

取組	目標達成に向けた具体的な取組について記載します。
対応する基本指針など	その取組が合致する中央図書館基本指針におけるサービスの具体的方向性 (以下、「方向性」といいます。)・各区プランを記載しています。
ねらい	この取組をすることによるねらいについて記載しています
内容	取組の内容について記載しています。
結果	取組を実施したことによる結果を記載しています(昨年から継続のものは前年度比も記載)。
自己評価、課題	実施したのち、どのような効果があったのか、次につながる課題などを自己分析して記載しています。

写真

実施した取組の様子
を写真で紹介します。

図書館協議会委員からの評価

-
-

図書館協議会委員からの評価を記載しています

Ⅲ 令和 7 年度 図書館全体での取組

3つの基本方針である「育む力」「学ぶ力」「創る力」を着実に進めていくために、実現するための基盤を強化することも重要です。そのために、中央図書館として市内全域に係る取組や、中央図書館が全館の中核となり、「図書館サービスのトータルコーディネート」として各図書館のサービスを支える基盤となる取組を行います。

取組	機会をとらえた読書活動の推進
対応する基本指針等	▶方向性①：市民の読書環境の充実にさらに努めます。 ▶方向性②：くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。 ▶方向性⑦：堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。
ねらい	大阪・関西万博の開催、戦後 80 年といった機会をとらえて、図書館資料を用いた取組を実施し、社会的に関心が高い事柄への更なる学び・理解を深めることに貢献する。合わせて図書館利用の促進を図る。
内容	【大阪・関西万博】 ・各図書館を巡回するブックフェア「SAKAI BOOK EXPO」を実施。 ・世界をテーマにしたおはなし会やよみきかせ会を万博連動企画として各図書館で実施。 ・万博連動企画「知的書評合戦こどもビブリオバトル in さかい」（テーマ：世界）を実施。 【戦後 80 年】 ・戦争と平和に関する本を展示・貸出するブックフェアまたはミニブックフェアを各図書館で開催。 ・岸谷勢蔵氏が堺市役所から委嘱されて描いた記録絵画を、堺市立図書館地域資料デジタルアーカイブで公開。また、建物疎開前の街並みを写した記録写真を、堺市立図書館地域資料デジタルアーカイブ及び電子図書館で公開。
結果	・「SAKAI BOOK EXPO」では児童書を中心に、日本や外国のことを学ぶことができる図鑑などを集め、こどもの国際理解を深めることに貢献した。 ・戦後 80 年を契機とした取組を行い、市民に平和を考えるきっかけを提供した。
自己評価課題	・これらの機会を通じて、所蔵資料の活用方策や社会への貢献のあり方を改めて検討することができた。 ・図書館資料を通じて、社会的に関心が高い事柄について市民の学び・理解を深めることができた。 ・次世代に平和や万博レガシーを継承する必要がある。

取組	「堺市こども読書活動推進計画」に関連する取組の実施
対応する基本指針等	▶方向性①：市民の読書環境の充実にさらに努めます。 ▶方向性④：子どもと一緒に安心して楽しく利用できる環境を整備します。
ねらい	令和 7 年 2 月に策定した堺市こども読書活動推進計画に沿った取組を実施し、こどもの読書活動の更なる推進を図る。
内容	計画や取組内容をより広く市民に周知するため、市内の各施設を巡回するパネル展を開催。
結果	令和 7 年 11 月 1 日から令和 8 年 2 月 28 日までの期間、各区役所や教育文化センターを含む市内 14 カ所において、巡回パネル展を実施した。
自己評価課題	堺市こども読書活動推進計画に関連する取組について、普段図書館を利用しない市民にも周知する機会を設けることができた。

取組	DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進
対応する基本指針等	▶方向性①：市民の読書環境の充実にさらに努めます。 ▶方向性⑥：青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。 ▶基盤（5）：システム・ICT 活用
ねらい	現在行っている図書館の業務にデジタル技術を活用することで、図書館の利便性や快適性の向上を図る。
内容	・各区域館における広報業務に、デジタルサイネージの活用を開始。 ・図書館情報システムと「my door OSAKA」の連携を開始。
結果	・デジタルサイネージを活用することで、利用者にとって情報が届く機会を拡大することができた。 ・図書館情報システムを改修し、「my door OSAKA」の ID でログインできるようになったほか、ログイン後の画面に利用者カード番号のバーコード表示機能を追加するなど、利便性が向上した。

自己評価 課題	・ デジタルサイネージを活用して、視覚的にインパクトのある広報活動ができた。 ・ デジタルサイネージの特性を活用した広報活動のあり方について、今後も検討を進める必要がある。
------------	---

写真など



ブックフェア「SAKAI BOOK EXPO」

巡回パネル展

デジタルサイネージ

図書館協議会委員からの評価

- 全体的な取組水準は高いと思います。
- 概ね評価良好です。
- 平和の展示に関しては折に触れて引き続き繰り返し行っていただきたいと思います。堺の被災の具体的な資料や平和を取り扱った絵本なども積極的に紹介してもらいたいです。
- 今年度は大阪・関西万博、戦後 80 年といった大きな行事や節目の年に関連した催しを行ったのは、市民の関心度も上がり良かったと思う。また、従来の紙の本と共に、時代に合わせデジタルを活用した取組も行っており、時代に遅れないようにする努力も感じられた。
- 「機会をとらえた読書活動の推進」は④⑥⑨の基本方針にも関わらないか。「「堺市こども読書活動推進計画」に関連する取組の実施」は、対応する基本指針に方向性⑤学校との連携した取組みが書かれていない。
- 図書館の DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進は必須だが、利用者のデジタルリテラシーの修得支援にもこれから取り組んでほしい。
- 万博と連動したイベントや戦後 80 年に関する取組みを全館共通で取り組み、市民の関心の喚起や学びにつなげることができた。
- my door OSAKA との連携やシステム改修で市民の利便性が向上したと思います。
- 読書バリアフリー法が出来ていますが、それに関する記載が評価案全体を検索しても見当たりません。すでに取り組んでおられると思うので、サービスの基本理念と方針部分か、もしくは基本方針（２）学ぶ力に記述を加えるなど、改善が必要かと思います。
- 万博や戦後 80 年と関連するブックフェア等の取組はとても良いと思います。今後も社会情勢や世の中のイベントごとに合わせたものを考えて実施してほしい。
- 「堺市こども読書活動推進計画」のパネル展もいいですが、せっかくなので司書さんのおすすめ本を手にとってもらえるようにするなど、さらに読書につながる取組に期待したい。
- DX についてですが、利用者カードを持ち歩かなくてもスマホでバーコードを表示できるのは便利です。もっと周知して利用促進を。
- SAKAI BOOK EXPO の取組は素敵です。このような企画だからこそ外国人のこどもにも届くような情報発信ができていたのか気になります。デジタルサイネージも外国人に届くような情報発信を期待します。
- 総じて地域特性、社会的要請及び利用者ニーズを踏まえた運営が適切に実施されているとおもいますが、各館に共通して展示型事業の比重が高い傾向が見受けられることから、参加体験型事業への展開及びデジタルサービス活用のさらなる推進が今後の検討課題と思います。
- 堺市こども読書活動推進計画のパネル展について。11 月 1 日から 2 月末まで各地で行われたが、周知が遅すぎるのではないですか？「ゆずりは」に掲載されたのは始まって一か月以上経った 12 月 7 日発行のもの、広報の掲載は私は確認できなかった。こども室からの案内を受けたときは中央図書館も南図書館もすでに終わっていて、1 月に南区役所で見ると予定だったが、急な選挙のため中止になった。中止でなく 3 月に延期にはできなかったのか、残念。

Ⅳ 令和 7 年度 各区図書館の取組

堺 区

令和 7 年度目標

- ・ 堺の歴史文化を保存し触れる機会を創出し、資料の活用や継承に繋げる。【創る力】
- ・ 生涯学習の場として、養成講座等の学習機会を支援する。【学ぶ力】

取組	郷土資料展、記念講演会の開催 地域資料の電子書籍化、デジタルアーカイブ化及びホームページへの公開
対応する 基本指針等	▶方向性⑦：堺の歴史文化を保存し、時代に継承して活かします。 ▶堺区チャレンジプラン 基本方針 1：堺区の魅力が世代を超えて伝えられ、郷土愛が育まれていること
ねらい	・ 図書に加えて絵図や古写真等の史料を用いて郷土資料展や講演会を行い、堺の歴史文化に触れる機会を持ってもらい、堺に対する知識の深化や郷土愛をはぐむ機会とする。 ・ 堺に関する図書を電子書籍化し、また図書形態でない絵図や写真等をデジタルアーカイブ化してホームページで発信することにより、堺市民はもとより広い範囲の人々が堺を知り、貴重な資料を閲覧、活用することができ、地域の記録の継承につなげる。
内容	・ 昭和 100 年を記念し「昭和の堺市」と題した郷土資料展と関連した記念講演会を開催。 ・ 堺市の行政資料、堺の郷土史家が手書きで記した資料などを電子書籍化。 ・ 明治に発行された大阪錦画新聞、堺関連の絵葉書、写真、引札等をデジタルアーカイブ化。
結果	・ 郷土資料展の来場者数は 485 人、記念講演会の受講者数は 35 人。郷土資料展と記念講演会のアンケートでは、「歴史のまち堺を再認識できた」「堺の戦時の歴史で知らない部分が紹介され興味深かった」などの感想をいただいた。 ・ 堺関連資料の電子書籍や、写真・絵図のデジタルアーカイブを公開して、堺の歴史を知り活用できるようにした。
自己評価 課題	・ アンケート結果について、「よかった」と「とてもよかった」をあわせた数値が、郷土資料展は 92%、記念講演会は 97%でどちらも高評価を得た。 ・ 今年度は例年より多くの行政資料の電子書籍化の許諾を得ることができた。年を重ね公開実績が増加したため各部署への認知度があがってきた。地域資料の電子書籍化については、資料の選定、許諾取得等をさらに進めていく。

取組	図書館サポーター養成講座、おはなし・読み聞かせボランティア養成講座、 こども司書養成講座の開催
対応する 基本指針等	▶方向性⑥：青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。 ▶堺区チャレンジプラン 基本方針 2：人と人とのつながりが地域を支え、活力が生み出されていること
ねらい	・ 図書館でのサポーター活動、こども対象のおはなしや読み聞かせの活動、こどもたちが司書として図書館に関わる活動をするため、養成講座を開催し支援を行う。 ・ 受講者が図書館で活動するなかで、新たな人的ネットワーク形成の機会を設け、市民活動を支援していく。
内容	・ さかいこども司書にチャレンジ！（全 3 回）、図書館サポーター養成講座、おはなし・読み聞かせボランティア養成講座（全 2 回）、さかいこども司書交流会を開催。
結果	・ 参加者数は、さかいこども司書にチャレンジ！が 10 人、図書館サポーター養成講座が 15 人、おはなし・読み聞かせボランティア養成講座が 6 人、さかいこども司書交流会が 18 人だった。いずれの養成講座も評価の高い感想をいただいた。「貸出・返却が実際にできたり、ビブリオバトルができたりして、とても楽しかった」（こども司書）、「地域社会に貢献できる内容であることがよく理解できた」（図書館サポーター）、「的確にアドバイスしていただきよかった」「細やかな部分まで教えていただいていた楽しかった」（おはなし・読み聞かせ）など。
自己評価 課題	・ 図書館サポーターのアンケートでは、「よかった」「どちらかといえばよかった」をあわせると 100%、おはなし・読み聞かせのアンケートでは、全員が今後のボランティア団体への参加や見学を希望していた。 ・ こども司書については、もっと話をしたいという要望に応え、また読書支援リーダーとしてさらに活躍してもらうため、堺市全区のこども司書の参加を募り、交流会を開催した。 ・ いずれの養成講座でも、講座を終えたあとの受講者への細やかなフォローを行う。

写真

 郷土資料展	 電子書籍化した手書き資料	 サポーター養成講座
--	---	--

図書館協議会委員からの評価

- 資料展や後援会が今まで図書館を利用していなかった方が新たに来館する契機になっていたら嬉しいです。養成講座も同様に、このような講座の開催が来館していない方にも情報として届くと良い。広報だけでなく関係機関やボランティアサークルなどを通して広く宣伝できると良いと思います。
- 「郷土資料展、記念講演会の開催・地域資料の電子書籍化、デジタルアーカイブ化及びホームページへの公開」の取組は、高く評価できる。ただし、⑥のあらゆる人の学習権の保障にもつながるという視点、郷土愛の育成、シビックプライドの醸成を通して⑨まちづくりにもつながるという視点もしっかり入れて PR してほしい。
- 「図書館サポーター養成講座、おはなし・読み聞かせボランティア養成講座、こども司書養成講座の開催」は、よい取組である。ただし、方向性④にもつながるのでその視点も明確に入れたい。
- 「昭和の堺市」の取組はとても良いと思います。地域資料の電子書籍化やデジタルアーカイブの取り組みが進んでいる。また、これらの取組について年間の公開件数が増加してきていることや許諾取得などの作業を着実に進めておられることを評価したいと思います。
- 堺市博物館が近いことから歴史関係の取組は相性がいいと思います。今後も堺の魅力発信につながる企画を期待している。
- 「さかいこども司書にチャレンジ!」、「図書館サポーター養成講座」、「おはなし・読み聞かせボランティア養成講座」が実施され、図書館活動の担い手育成になり良かったと思います。

中 区

令和 7 年度目標

- ・ 多様な情報が氾濫する中、市民が信頼を寄せる知および情報の拠点として、市民ニーズ、社会ニーズに応える資料、情報の提供に取り組む。
- ・ 子育て世代（親・子）の図書館離れの傾向が伺える中、こどもが図書館へ興味・関心を抱く取組を通して、こどものみならず、ミドル世代も含んだ図書館利用の機会の創出、利用促進を図る。

取組	「戦後 80 年」を契機とした取組
対応する基本指針等	▶方向性③：さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。 ▶方向性⑥：青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。 ▶堺市中区地域計画 区制運営の方向性：現代から次世代へ
ねらい	戦後 80 年を契機に、次世代を担う若い世代が「平和」について考え、将来に引き継ぐための取組の推進といった社会的機運がある中、情報発信の拠点である図書館の役割として平和教育の促進に努める。
内容	7 月～9 月に、同一建物内にある「平和と人権資料館」とも連携し、こどもを含むすべての市民を対象に、ブックラリー・クイズラリー・イベントのほか、資料展示を行った。
結果	・ブックラリー「平和をつなげ！本から人へ」→メッセージ件数 9 件 ・クイズラリー「みんなで育てよう平和の木」→メッセージ件数 56 件 ・こども向けイベント「ガチャでえらぼう、平和の本」→貸出冊数 23 冊 ・その他、資料展示(平和と人権資料館所蔵資料)およびブックフェアを実施。
自己評価課題	3 ヶ月にわたる取組により、利用者に関心を向けてもらえ、また、メッセージ等からは平和について考える機会になったことが伺え、「戦後 80 年」に係る全市的な取組の中、図書館としてもその役割の一端を担えた。 今後も、こうしたテーマを一過性で終わらず、継続性をもって取り組んでいく必要がある。

取組	こどもの読書活動推進に向けたこども向けイベント等の実施
対応する基本指針等	▶方向性⑥：青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。
ねらい	こどもたちが図書(館)に親しみをもてる取組を進めることで、読書習慣の促進や興味関心の広がり(学ぶ意欲の向上)を図るとともに、図書館の利用促進につなげる。
内容	おはなし会などの定例行事をはじめ、子育てサークル・学校訪問やこども司書活動のほか、他団体との連携も含む各種イベント等を実施した。
結果	・おはなし会など 67 回 ・子育てサークル及び小学校への訪問 6 回 ・こども司書活動、ぬいぐるみとしょかんおとまりツアー、なかとしょかんへいこう(図書館まつり) ・各団体(ソフィア・堺内施設、大学、民間団体)との連携事業 8 回 「星のおはなし会」、地域交流イベント「なかみずさくらまつり」、「多文化共生を学ぶワークショップ」等
自己評価課題	・こどもたちが来館するきっかけの一つとなっており、取組の効果は一定認められた。ただ、児童書の貸出冊数の増などに結び付くまでの効果は見られない。 ・こうしたイベントや取組が、図書館の継続的な利用や図書の貸出しに繋がるよう、取組内容の見直しを図るとともに、新たな取組も進めていく必要がある。

写真



「戦後 80 年」を契機とした
取組の様子



親子いっしょにえほんひろば



なかもずさくらまつり
(大阪公立大学)



多文化共生を学ぶワークショップ
「せかいのくにでおめでとう」

図書館協議会委員からの評価

- こども・子育て世代への取組に力点が置かれているところは良いと思います。教育文化センターがあることも平和と人権資料館が隣接していることも含めて、中区図書館の特性として大切に取り組んでいただきたい。地域の学校やこども園などとの連携も大切に考えていただきたい。
- いつでも・だれとでも・どこからでも学べる環境を充実させるために取り組んでいるところがよい。併設されている「平和と人権資料館」と共に、戦後 80 年という節目の年に次世代を担う若い世代に向けて情報を発信していったのは評価できる。また、こども向けのイベントを数多く行い、来館するきっかけ作りをしていただいたのはありがたい。
- 「戦後 80 年」を契機とした取組をされたことは素晴らしい。資料館とも連携し、イベントや展示をおこなったのはよかったが、アンケートやメッセージボードの設置などはおこなったのか。
- 子育てサークル及び小学校への訪問が 1 年間に 6 回だけは少ないと思う。各団体の連携事業はとてもよいので、さらに継続発展させてほしい。
- 平和と人権資料館との連携で戦後 80 年に関する取組を活発に実施した様子が分かりました。今後も継続していただければと思います。
- 平和と人権資料館があるので、戦争や平和に関する取組は今後も続けてほしい。こどもの読書促進に向けて、図書館だけでなく、子育てサークルや学校に出向いての活動はとても良いと思います。
- 多文化共生を学ぶワークショップはよい企画です。こういう取組だからこそ外国人のこどもも参加できるよう期待したいです。そのためには他の機関と連携して外国人に直接呼びかける必要があると思います。
- おはなし会などこどもたちが図書館に親しみが持てる取組を行っていることはとてもいいことだと思いますが、児童書貸出増に結びつかなかった理由について詳しく知りたいです。

東 区

令和 7 年度目標

- ・ 地域の特性や利用者の属性などに配慮した図書館運営を推進する。
- ・ 地域の拠点としての役割を果たすため、関連機関、地域住民との連携を密にする。

取組	読書・学習スペースの整備による読書環境の充実
対応する基本指針等	▶方向性①：市民の読書環境の充実にさらに努めます。 ▶堺市東区みんなで育むわがまちビジョン 基本方針 2：人と人がつながり、賑わいのあるまち（2-1 学びの機会）
ねらい	多様な目的で来館する利用者が、それぞれの目的に応じて、安心安全で快適に利用できるよう館内の閲覧スペースの再構築を行う。
内容	・ 読書・学習スペースを整備・拡充することで館内のゾーニングを図り、目的に応じた利用ができるようにする。 ・ 満席のため利用できず退館する方もいる現状を、閲覧席を増やすことにより改善する。
結果	・ 閲覧席の一部を読書・学習スペースとして整備し、書架で区切って、館内のゾーニングを図り、目的に応じた利用ができる環境を整えることができた。また、区切りに使用した書架には学習のために来館する利用者に役立つ資料を展示するなど、読書以外で来館する利用者の図書館利用を促進するための工夫を行った。 ・ 閲覧席を増やすことにより、より多くの利用者に図書館を活用してもらうことができる体制を整えることができた。閲覧席 101 席→164 席
自己評価課題	・ 図書館アンケート等で、ゾーニングを図ったことによる効果について検証する必要がある。 ・ 学習のために来館する利用者は、中高生も多い。学習のために来館した利用者が図書館や本にも関心を持ち、読書意欲を高めることができる資料の充実を図るなど、スペースの活用について継続的に取り組む必要がある。

取組	地域の課題解決や暮らしに役立つ資料・情報の提供
対応する基本指針等	▶方向性③：さまざまな専門家等との連携によるサービスに努めます。
ねらい	地域の知の拠点としての役割を担い、市民生活の質の向上につなげるため、地域の他機関との連携をはかり、社会的な課題に対する情報発信等を行う。
内容	・ 課題解決支援講座の実施（市民人権局 市民生活部 市民協働課・大阪府警察本部 生活安全指導班と連携） ・ 本とつながるパネル展の実施（東基幹型包括支援センターと連携） ・ 第 30 回さかい男女共同参画週間事業参画（市民人権局 ダイバーシティ推進部ダイバーシティ企画課と連携）
結果	・ 課題解決支援講座は近年社会問題となっている「特殊詐欺」をテーマに実施した。講座の参加人数は 26 人、アンケートでは満足度は 100%であり、「知らないこともあり勉強になった」「少しは理解していたつもりだったが、より深く分かるようになった」などの意見もあり、理解促進につながった。 ・ 本とつながるパネル展は年 4 回実施。認知症や高齢者の見守り、介護保険や社会的孤立など身近な問題について資料とともにパネル展示を行った。東基幹型包括支援センター職員おすすめの資料も POP とともに展示するなどわかりやすく興味をもってもらえるような工夫を行った。 ・ 第 30 回さかい男女共同参画週間事業に参画、ジェンダーブックフェアを実施した。ブックリスト「多様性ってなんだろう？」を作成、施設内の東文化会館で開催のイベント内でブックリストを配布・ブックフェアの案内を行った。
自己評価課題	・ 課題解決支援講座は、時事的で身近な内容であり市民への情報発信の機会につながった。参加者のほとんどは「特殊詐欺」等のターゲットにされやすい高齢者で、企画意図は達成されたと考えられる。一方、高齢者の周りで高齢者を支え見守る年齢層の参加は少なかった。多方面での広報を行ったが、「高齢者向けの講座」という印象を持たれてしまったのが原因とも思われるので、視点を変えて広報をすれば高齢者以外の参加も増えたかもしれない。市民に身近で有益な内容であることをどのように広報するか、あらゆる世代に効果的な広報についてなども検討する必要がある。 ・ 本とつながるパネル展は地域の課題を知る上でも重要な取組であり、今後も継続して実施する。その他にも高校や他部局と連携したブックフェアを実施しているが、図書館アンケートでは「特集をたのしみになっている」「おすすめ本のコーナーがすごくいい」という声があり情報発信・利用促進につながっている。今後も内容や実施方法を工夫し実施していく。

- ・ 今後も専門機関や各部局と連携を図り、地域の課題を共有し協力しながら事業を開催、あわせて関連分野の資料を収集することで、市民への情報発信と利用促進につなげる。

写真



図書館協議会委員からの評価

- 図書館で学習している学生などが多いという声も見かける。十分なスペースがないことは課題だと思いますが、ニーズとしては大切。図書館で学習している先輩の姿を見ることも刺激になるとも感じます。
- 来館者に合わせたゾーニングというのは、読書環境や気軽に図書館に足を向かせるにはいい試みだと思う。また、課題解決支援講座も含め、本を借りるだけでなく、寒い時・暑い時の市民のコミュニケーションの場・憩いの場としても機能できていると思う。
- 持ち込み学習も可能とする「読書・学習スペースの整備」を図ったことは高く評価したい。中高校生のニーズが多いと思うので、さらにスペースの拡充をお願いしたい。
- 「課題解決支援講座」は素晴らしい取組である。今回は「特殊詐欺」なので高齢者が多かったようだが、「ブラックバイト」や「フェイクニュース／動画」などをテーマにすれば若者の参加も見込まれると思う。今後も継続発展させてほしい。
- 限られたスペースで現代のニーズに合うように閲覧席配置の工夫をされている様子が分かった。課題解決支援講座の実施やパネル展も含めて、参加者の感想やフィードバックを参考に、今後も様々な取組につなげていただきたい。
- 専門的な講座は勉強になるが、難しそう…と対象を狭めることになっていないか。身近なこととして幅広い世代に知ってもらえるといいと思う。
- 読書・学習スペースの整備は面積や固定家具など制約が大きい中しつらえを変更することはよい試みだと思います。常にニーズと現状のギャップを捉え改善していくことを期待します。
- 読書・学習スペースを整備・拡充することで館内のゾーニングを図ったことは良いことだと思います。ただ、「満席のため利用できず退館する方もいる現状を、閲覧席を増やすことにより改善する。」と記載がありますが、なぜ満席になったのか分析結果も記載をお願いします。

西 区

令和 7 年度目標

- ・ 図書館の基本業務である適切な蔵書管理を継続し、地域住民が必要な情報をさがしやすく、知的的好奇心が満たされる棚づくりを行う。
- ・ 図書館を使った学びと交流を支援し、中高生の読書推進につなげる。

取組	特集棚、ブックフェア等を活用した棚づくり
対応する基本指針等	▶方向性①：市民の読書環境の充実にさらに努めます。 ▶方向性②：くらしに身近なテーマを図書館で調べる・相談できるようにします。
ねらい	地域住民が必要な情報をさがしやすく、知的的好奇心が満たされる棚を作る。
内容	・ ブックフェア、面展の実施 ・ 特集棚（不登校支援）の新設 ・ 特集棚（セカンドステージコーナー、ティーンズエリア）のリニューアル
結果	・ 定例ブックフェア（一般、児童、健康情報）の実施回数 36 回 ・ ミニブックフェア（時事や季節に合わせ適宜）の実施回数 閲覧室で 6 回、2 階「学びと交流の広場」で 10 回 ・ 西区の不登校相談イベントをきっかけに、ブックリストを作成。「学校に行きづらいと感じたら～いろいろな学びのかたち～」として関連資料や西区フリースクール等のチラシを集めたコーナーを新設した。 ・ セカンドステージコーナーの内容を整理、ターゲットとする年代の方が読む資料を中心にした。ティーンズエリアは面展資料を増やして魅力的な棚になるようリニューアルした。
自己評価課題	● ブックフェアは貸出率も高く、利用者アンケートでも評価する意見があったので引き続き多彩なテーマで実施していく。 ● 不登校支援コーナーは、西区との連携を継続し必要な情報を整備する。また、ブックリスト掲載資料を中心に今後書籍も充実させていく。 ● 特集棚については利用者の興味を引くように、定期的に内容を精査し、表示・展示方法などを見直しながら運用していく。いずれも市民・行政課題の解決に資するよう、柔軟にテーマ設定、棚づくり等を進める。

取組	2 階「学びと交流の広場」の活用
対応する基本指針等	▶方向性⑥：青少年、高齢者、障害者、外国人など、いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境を充実します。 ▶方向性⑧：市民交流の場を作ります。 ▶堺市こども読書活動推進計画 ▶西区みらい指針 取組の方向性 3 みんなで支え合い“地域の子”を育む
ねらい	・ 市民の自発的な学習を支援する。特に利用者登録が増加傾向にある中高生をターゲットとして読書推進につなげる環境を整える。 ・ ボランティアの自発的な活動を支援・協働して、こども読書活動を推進する。
内容	・ 読書・学習席の運用見直し ・ 読書・学習席の主な利用層である中高生をターゲットとしたブックフェアや本の展示、アンケートイベント等を実施 ・ ボランティアが主催となる行事実施の流れを整理
結果	・ ラーニングスペース AB の空き時間を利用して、満席時に席数を拡張できるよう運用変更した。 ・ 図書館資料を置いていなかった 2 階でブックフェアの開催 10 回→進路・学習系の書籍を中心に、「ティーンズコーナー出張所」に展開させ常設とした。 ・ 読書・学習席利用者に対し、択一式や一言でこたえられるアンケートを行い、結果を展示（12 月～ 7 回実施予定） ・ 北海道斜里町立図書館を参考に、10 代からの「お便り」を募集（1 月～） ・ ボランティア主催の行事の実施 令和 6 年度の同内容の行事実施回数は 6 回、令和 7 年度は実施手順整理前に図書館が主催して行ったものをあわせると 10 回実施予定

自己評価 課題	- 令和4年1月の開設後、読書・学習席の利用のため、若い世代が2階「学びと交流の広場」を訪れるようになったが、4階閲覧室の利用に結びついていなかった。今年度は、ブックフェアやイベントを試行錯誤しながら行った。今後、若い世代が、図書館に対する親しみを深め、貸出や調べ物などといった積極的な図書館利用を行うよう、どうつなげていくかが課題であり、引き続き取組を進める。 - ボランティア団体が主催となり事業を実施することで、自由度が高まり、自発的な活動につながった。
------------	---

写真

 不登校支援コーナー	 ボランティア団体主催事業	 2階「学びと交流の広場」で実施したブックフェア
--	---	---

図書館協議会委員からの評価

- 不登校相談・支援については継続した取組が大切だと思います。関連機関との連携を望みます。保護者ばかりでなく、不登校の問題の情報を求めている人は結構多く、資料の充実もお願いしたい。
- 東区と同じ学習スペースについては課題だと思います。
- それぞれの年代別に、ターゲットを絞った特集棚の設置が魅力的。世代によって興味・関心は変わってくるので、焦点を絞ってくれるのはありがたいと思う。また、最近増加している「不登校」に関する情報発信は、それをきっかけに同じ悩みを持つ人たちが気軽に集まって話ができるようになると尚いいと思った。
- 2階に進路・学習系の書籍を中心に置き、読書・学習席も拡充させたのはよかった。さらに居心地がよい環境づくりを進めてほしい。
- 中高生に向けた取組が充実している。西区との連携による不登校支援に関する展示は重要だと思う。すぐに効果が出るものではないので長い目で見て取組を続けていただきたい。中高生向けの簡単なアンケートも良いと思う。こども基本法もできているので、今後もこどもたちの意見をサービスに反映していただきたい。
- 不登校支援コーナーはとても良い取組。情報発信だけでなく、不登校のこどもの居場所にもなるとより良いと思う。
- 青少年に向けて積極的な読書環境の充実ができていますと思います。アンケートイベントの結果を示していただけると幸いです。不登校支援コーナーはどこに設けているのか気になりました。知られたいく青少年もいると思いました。
- 不登校支援コーナーは、新たな取組として良いことだと思います。学校連携は視野に入れてますでしょうか。

南 区

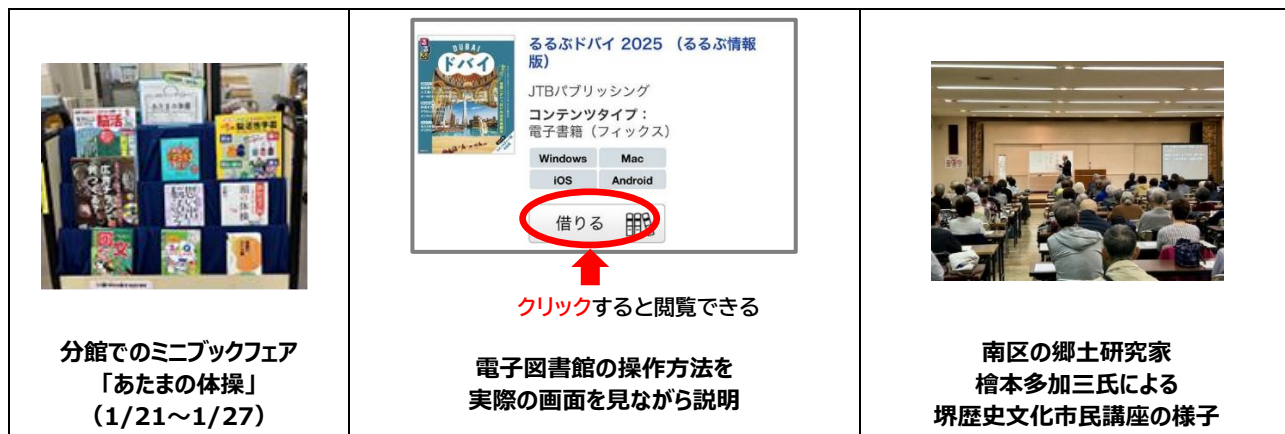
令和 7 年度目標

- 南区では泉北ニュータウンの人口減少、高齢化が進んでいる。市民の課題解決を支援し、健康でより豊かに暮らせる社会の構築に役立つ情報および資料の提供を、地域の実情に合わせて行っていく。

取組	図書館資料の利用促進
対応する基本指針等	▶方向性①：市民の読書環境の充実にさらに努めます
ねらい	地域住民の知的好奇心を育み、新鮮味が感じられる棚づくりを行う。特に高齢者に役立つ資料や利用の多い分野を積極的に収集していく。
内容	高齢者に役立つ資料、利用の多い資料を積極的に購入し、寄贈資料でも受け入れた。また、外国籍の住民が多い区であることから多文化資料コーナーを設置しており、日本語学習や、外国語で書かれた本を購入した。外国語絵本の展示および国際交流員による読み聞かせイベントも国際課と連携し、実施した。
結果	- 医療情報をはじめ高齢者に役立つ資料、時代・歴史小説など利用の多い小説 128 点を受入。寄贈資料も時代小説を中心に 81 点受入。他部局と連携し、介護保険や認知症をテーマとした高齢者向けのブックフェアを行った。 - 外国語資料を 87 点、日本語学習資料 42 点、英語多読資料 56 点受入。 - 短期間のミニブックフェアも、分館を含め 75 回行い、随時利用者に役立つ情報を提供した。 - 外国語絵本の展示および国際交流員による読み聞かせイベントの参加者は 33 人だった。
自己評価課題	限られた予算の中で積極的に購入したが、高齢者向けの医療情報や保険・年金関係の資料については常に新しい資料に更新していく必要がある。また外国語資料の冊数および言語の種類を増やすためには、今後も計画的な選書、購入が必要である。

取組	南区の課題を踏まえたイベントの実施
対応する基本指針等	▶方向性⑨：堺市のまちづくり、地域づくりのお手伝いをします。 ▶堺市南区基本計画 基本方針 2：ひとがいきいきと輝き、健やかに成長することができる都市（まち）
ねらい	南区の課題について考える機会を作るとともに魅力の発信も行っていくため、課題解決支援講座や堺歴史文化市民講座等を実施し、地域への理解を深めてもらう。
内容	南区に愛着、興味を持ってもらうとともに課題解決にもつながるよう以下のイベントを実施した。 - 講座「まちづくりについて」では今後の泉北ニュータウンについて考えてもらう機会とした。 - 高齢者に役立つ講座として特殊詐欺被害防止講話、電子図書館の使い方講座を開催。 - 南区に興味を持ってもらうため、堺歴史文化市民講座では、南区に慰霊碑がある小西行長について、博物館との連携講座では南区の中世古文書についての講座を行った。
結果	- 参加者数は講座「まちづくりについて」44 人、特殊詐欺被害防止講話 25 人、堺歴史文化市民講座 91 人、電子図書館の使い方講座 9 人、中世の南区については 66 人。 - 特殊詐欺や電子図書館の講座はいずれも 9 割近くが肯定的な評価だった。堺歴史文化市民講座参加者の 7 割近くは南区への関心が高まったと回答。
自己評価課題	南区の課題として高齢化率の高さと人口減少のスピードの速さがある。今年度はその課題を意識して各講座を開催し、関連する資料展示も行った。まず「まちづくりについて」では、講義および講師が所属する大学のゼミ生による発表後、参加者同士の意見交換が活発に行われ、住民に自分の地域について考えてもらうきっかけとなった。その後、南区の歴史に関する 2 講座を行い、これまで知らなかった知識も学んでもらうことで、より地域への関心を高める効果があったと考える。 また、利用者の高齢化は今後も進んでいく。どのようなサービスが効果的で役立つかを継続して考えていく必要がある。

写真



図書館協議会委員からの評価

- 地域の課題である高齢化に向き合うことは大切。一方、地域のこどもたちについても目を向け、図書館で高齢者とこどもたちが触れ合えるようなキッカケが出来ると良いなあと思います。
- いつでも・だれでも・どこからでも学べる環境づくりがよい。いくつになっても学びたい・新しいものに目を向けたいという知的好奇心をくすぐる方法を、これからも探っていって欲しいと思う。
- 高齢者向け資料の収集に力をいれたのは良い。大活字本は何冊入れたのか。資料だけでなく、孤立する高齢者の居場所、交流の場の創出にも力を入れてほしい。
- 区の課題と連動した取組を実施していて、このような姿勢は重要だと思います。限られた予算ですが、高齢者にとって読みやすい大活字本も活用できると、読書バリアフリーの観点からも良いと思います。
- 人口減少と高齢化が課題の南区。課題に合わせた講座や、高齢者向けの資料や歴史小説の購入など努力しておられると感じた。坂道が多いこと、バスを使わないと移動が難しい地域なので、移動図書館を増やせたら一番良いのではとも思います。
- 外国語資料を 87 点、日本語学習資料 42 点、英語多読資料 56 点受入に関連して、主に外国籍向けの書籍は、あることに価値があることを承知していますが、どの程度の利用(貸し出し等) あったのでしょうか。この点も把握し共有しておく今後の選書・購入、情報発信の必要性の検討ができるかと思います。
- 分館を利用することが多く、目立つ場所にミニブックフェアがあり、思いがけない本に出会う場所となっていて有難い。
- 地域の人口構成を踏まえた高齢者支援が実施されており、高齢化率の高さや外国人など地域特性への適合性が高いと思います。図書館としての地域支援が機能していると思います。

北 区

令和 7 年度目標

- ・ 子育て世代向けの情報発信や児童対象のサービスを行い、読書活動を推進する。
- ・ 北区の知の拠点として、区民の生活に役立つ資料提供また情報発信を行う。

取組	子育て世代および児童向け行事の充実
対応する 基本指針等	▶方向性④：子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します。 ▶北区みんなのまちビジョン 基本方針 1：みんなで関わる子育てのまち
ねらい	北区は子育て世代が市内で 1 番多く主要な利用層であることから、子育て世代やこどもの来館の機会となるような、ニーズに合わせた行事を実施することで、本に親しむ環境を作り利用を促進する。
内容	・ えいごえほんライブを前年度の 3 回から 7 回に増やし、対象を小学生にしたものも開催した。 ・ 絵本作家の岡田よし子氏を招聘し、保護者向け講座でワークショップを行った。 ・ こども司書コーナーを設置し、通年でこども司書おすすめ本等の展示を行った。 ・ コロナ禍で途絶えていた「こわいおはなし大会」を開催した。 ・ 児童デイサービス施設、ショッピングモール内の店舗への訪問おはなし会を実施した。
結果	・ えいごえほんライブ 7 回（うち 2 回小学生向け）予定 ・ 保護者向け講座 参加者 12 組（計 38 人：大人 15 人、こども 23 人） ・ こわいおはなし大会 参加者延べ 126 人（こども 67 人、大人 59 人） ・ 児童デイサービス施設訪問おはなし会 2 回 参加者延べこども 17 人 ・ ショッピングモール内の店舗への訪問読み聞かせ 2 回 参加者延べ 16 人 ・ 転入者向け交流会にて読み聞かせ 2 回 参加者延べ 16 人
自己評価 課題	・ えいごえほんライブは回数を増やしただけでなく、対象を絞り開催し内容にバリエーションを持たせた。また、各種アンケートで要望の高い絵本作家の講座や、こどもに人気の「こわいおはなし大会」の開催など、より子育て世代やこども達のニーズに合わせた事業を開催できた。特に小学生向けの行事は少ないがニーズに合致していると参加があるとわかった。 ・ 児童デイサービス施設や商業施設での読み聞かせなどで、図書館に来館していない人々に利用をアピールできた。図書館外での活動で今後も利用広報を行っていきたい。

取組	多様な本や情報と出会える場を提供する。
対応する 基本指針等	▶方向性①：市民の読書環境の充実にさらに務めます。
ねらい	区役所内にある図書館という立地を生かし、関連機関と連携しながら社会的ニーズに合わせた資料の提供やコーナー設置を行い、利用者の問題解決となる情報を提供していく。
内容	・ 「北図書館の文学賞ブックフェア」を昨年度に引き続き開催。9 月から、テーマに寄せる担当者の思いなども掲示した「司書の気まぐれミニブックフェア」コーナーも新たに設置した。 ・ 保健センターとの連携ブックフェアを継続して実施。基幹型包括支援センターとの連携では、新たに認知症家族の交流会で職員による本の紹介を行った。 ・ 語学学習の棚や、地域資料など複数の場所に分かれていた在住外国人に役立つ資料を集めた日本語学習コーナー「にほんごをまなぶ」を設置した。 ・ 他館所蔵の返却本を展示する「途中下車のコーナー」が定着し、アンケートでの評価も高い。 ・ 図書館・博物館連携シリーズ「北区の歴史を紐解く～宗教文化、祭礼を中心に～」を実施。
結果	・ ミニブックフェア回数 37 回 ・ 認知症家族の交流会での本の紹介 1 回 参加者 13 人 ・ 日本語コーナー設置冊数 54 冊 ・ 途中下車のコーナー 貸出点数 3648 点（12 月末現在、令和 6 年度 4025 冊）
自己評価 課題	・ 認知症家族の交流会での本の紹介をきっかけに、図書館の利用につながったケースがあった。これらの連携の積み重ねにより、図書館に隣接する市政情報コーナーに保健センターの健康啓発ブースを来年度設置し情報発信する予定。提携が他部局への広がりを持ち、館外での情報発信につながった。 ・ ブックフェアや途中下車のコーナーで、自館以外の本に触れていただく機会を提供できた。共にアンケートで好評で、テーマ性のない展示でも評価を得た。職員の個性を生かしたブックフェアは、司書に親しみを持ってもらえ、ブックフェアの感想などの声かけをよくいただいた。専門性を生かした取組を積極的

に行っていく。

- ・ 図書館・博物館連携シリーズ「北区の歴史を紐解く～宗教文化、祭礼を中心に～」は問合せや申込も多く、地域情報を求めるニーズに合致した。文化施設が区内に少ないが、ニーズはあるため、講座開催などの情報発信は今後も行う。

写真



えいごえほんライブ



無印良品での読み聞かせ



司書の気まぐれミニブックフェア

図書館協議会委員からの評価

- 北区は子育て世代が多いのでそのニーズが高いのですが、北区役所まで出かけることが西側地域からは子連れでは困難。そうした地域へのおはなし会や子育て広場などでの貸出などもあればいいなと思います。
- こども向け行事に力を入れたことは高く評価できる。えいごえほんライブは、月に 1 回くらいは実施してほしい。定期的にすると参加者も増える。通常のおはなし会は週に何回実施しているのか。
- 児童向けサービスが充実していたと思います。放課後デイサービスや商業施設へのおはなし会など頑張っておられる様子が分かった。区役所内の各課の事業に出向いて認知症家族への図書支援を実施するなど上手く連携が取れていると思いました。
- こどもが多い区なので、子育て世代や児童向けのイベントはとても良いと思う。外国人も増えてきたので、えいごえほんライブはもちろん、国際交流や文化の違いを知れる企画もあるといいと考えます。
- 無印良品での読み聞かせなど出て行くことは、専門性を評価してもらうよい機会となるので評価します。
- 包括支援センターとの連携で新たに認知症家族の交流会を実施し、職員による本の紹介はとても良い取組だと思いました。

美 原 区

令和 7 年度目標

- ・ 地域に根ざし、だれもが訪れやすい「地域の知の拠点」となる図書館づくりの推進
- ・ 図書館行事を通じ、世代を超えて地域の一体感を育む

取組	地域で活躍する人材を講師に招き、地域文化の継承を目的としたイベントの開催
対応する基本指針等	▶方向性⑦：堺の歴史文化を保存し、次代に継承して活かします。 ▶方向性⑧：市民交流の場を作ります。 ▶方向性⑨：堺のまちづくり・地域づくりのお手伝いをします。
ねらい	地域文化の継承と、世代を超えた地域の一体感の形成に努める。
内容	歴史文化市民講座「南河内のむかし話と美原区産古代米藁で編む注連縄づくり」の開催 ・ 講座は二部構成で実施。第一部はボランティアサークルによる美原古代米の紹介と、お米にまつわる昔話のストーリーテリングと絵本の読み聞かせ。第二部では講師の指導で参加者が 8 グループに分かれ、注連縄づくり体験のワークショップを展開。
結果	・ 令和 7 年 12 月 21 日（日）、美原区役所会議室にて開催。 ・ 定員 40 名のところ 33 名が参加。小学生と保護者、また高齢者層の参加もあり、ワークショップ形式の製作体験ではお互いに声を掛け合いアドバイスしあう姿が見られるなど、世代を超えたつながりや温かさを感じられる場となった。 ・ 参加者アンケート(n=19)では「とてもよかった」74%、「よかった」26%と高い評価を得た。 ・ 世代を超えて助け合いながら作業することで、図書館が人と人を結ぶ役割を果たせた。
自己評価課題	・ 今回の講座を通じ、地域文化を次世代へ継承する、地域図書館の役割を改めて実感した。 ・ アンケートの声で古代米への関心や地域文化の伝承体験に肯定的な声が寄せられたことから、今後の講座開催の参考としたい。

取組	庁内関係部局、地域団体との連携と協働の推進
対応する基本指針等	▶方向性④：子どもと一緒に安心して、楽しく利用できる環境を整備します ▶「美原区ビジョン 2025」基本方針 2：魅力的で訪れたいくなる
ねらい	区役所等の行政機関や、地域の子育てネットワーク協議会が主催する企画と協働することで図書館の存在を PR し、新たな図書館ユーザーの増加につなげる。
内容	「美原まちなか文庫絵本読み聞かせ会」 ・ ららぽーと堺のフードコート内にあるキッズスペースで乳幼児およびその保護者に対して絵本の読み聞かせを行った。 「みはら子育て応援フェス in ららぽーと堺」 ・ みはら子育てネットワーク会議主催の同フェスに、子育て世帯の読書環境の充実を目的に絵本展示をメインに据え、会場内の状況により職員による読み聞かせを実施した。
結果	「美原まちなか文庫絵本読み聞かせ会」 ・ 商業施設内の実施ということで、普段図書館を利用しない人にも絵本の読み聞かせをすることができた。読み聞かせが始まると、ブース外の子どもや保護者も興味関心をもって入場してくる姿も見られた。 「みはら子育て応援フェス in ららぽーと堺」 ・ 当日は、隣接する「みはらわくわくルーム」の出展ブースで乳幼児向け展示を実施していたこともあり、両ブースを行き来する乳幼児の姿が見られた。 ・ 展示の他、図書館ブースのこどもの集まりを見計らい、適時職員による読み聞かせを行った。
自己評価課題	「美原まちなか文庫絵本読み聞かせ会」 ・ 保護者向けに乳幼児絵本の紹介をおこなったところ好評だった。商業施設内で静かな環境ではないため、読み聞かせに集中しやすい環境づくりが難しいと感じた。 「みはら子育て応援フェス in ららぽーと堺」 ・ 出展位置がステージ後方であったため、ステージ催事が始まると多くの来場者の視線がそちらに向かい、読み聞かせに集中しにくい状況が生じることとなった。 ・ 本年度の経験を踏まえ、次年度は、会場動線や出展環境を総合的に考慮した、大きな会場でも図書館ができる催し物を検討する。

写真



注連縄づくり体験



美原まちなか文庫
絵本読み聞かせ会



みはら子育て応援フェス in ららぽーと堺

図書館協議会委員からの評価

- ワークショップなどで世代を越えた交流があったとのこと。良い取組だと感じます。読み聞かせ会や子育て応援フェスが商業施設で行われたこともあり、広い参加者を得られていたようで良かった。
- 歴史文化市民講座は今年度1回だけの開催なのか。とても良い取組だと思うので、これからも継続してほしいし、もう少し回数も増やしてほしい。
- 美原まちなか文庫絵本読み聞かせ会、みはら子育て応援フェスは何回実施したのか。参加者は何名だったのか。これからも継続発展させてほしい。
- 歴史文化市民講座への親子参加が多かったようで良かった。講座に合わせて図書の紹介を行うなど単発イベントで終わらない工夫をお願いしたいです。地域の人が集まるイベントへの出張なども図書館の存在を知っていただく機会だと思います。
- 美原まちなか文庫絵本読み聞かせ会を継続することが大切だと思います。そのうち新しい展開がやってくると思います。
- みはら子育て応援フェス in ららぽーと堺などでのPR活動は必須だと感じます。これからも美原区の知の拠点としてPR広報活動を続けていってほしいと思います。

V 図書館協議会委員からの評価（総評・次年度に向けての要望等）

- 全体に対して言える事ですが、「R7 目標」が何故そのように設定されたかの説明がないので、説明が必要と思います。又、p11 の記載内容で理解したいと思ったのですが、「現状」の記載がなく、そこに存在する「課題」も明示されていないので「目標」も「基本指針」もその設定根拠が希薄となります。各区毎に、図書館が立ち向かうべき社会課題を有し、それぞれ個性があるはずですからその分析も課題設定もなく、「目標」が掲げられているのは不思議です。これは前から指摘していることです。
- 毎回、「サービス評価」の資料をいただいて報告されたことに対してコメントする形ですが、図書館のサービス向上を考えるなら、利用者の感想や、利用したいが出来ていない人たちの声をひろわなければ本来の評価につながらないのでは？と悩みます。個人的に接した人からの声で言う「絵本がたくさんあるが古くてあまりきれいでない」「読みたいと思う本（絵本）はなかなか順番が回ってこない」等、資料に対する意見を多々聞きます。資料充実への予算の獲得が大切かと思います。
- 今の時代を多面的・多角的にとらえ、市民のニーズに応える形で情報発信を積極的に行っていると感じた。人間関係が希薄になっている今、図書館は地域のコミュニケーションを形成し、広げて行く場でもあると思う。知的好奇心をくすぐり、満たす場として、様々なイベントや展示を通して人をつなぐ場となるよう、今後も工夫して欲しいと思う。美原まちなか文庫絵本読み聞かせ会を継続することが大切だと思います。そのうち新しい展開がやってくると思います。
- それぞれの図書館が地域や住民の多様なニーズに応じて様々な取組や連携、サービス改善をしてきたことがよく分かった。全体的に見て、多様で質の高いサービス提供が行われており、高く評価できる。ただ、今のデジタル社会で修得すべきメディア情報リテラシーやデジタルリテラシーについての文言がまったく見られなかった。これからの図書館の重要な責務の一つは、住民のメディア情報リテラシーの修得支援であることを認識し、ワークショップや講座などの取組を実施してほしい。
- 各区図書館の取組については、目標達成に貢献する事業を企画されていて、妥当性があると思いました。また、結果についても成果が出ていたと思います。区の課題と連動した取組については、市や市民の課題解決に図書館サービスが貢献している（貢献する）ということが理解され、予算配分の正当性を高めるものであり、重要だと考えますので、引き続きそのような意識を持ち、取り組んでいただきたいと思います。こども基本法、読書バリアフリー推進法などに対応する取組も検討していただきたいと思います。
- 区ごとに課題も特徴も違うので難しいですが、防災や防犯といった誰もが知っておくべきこと、認知症や不登校などのお困りごとは全ての図書館で啓発や情報提供コーナーがあつていいと思います。
- こどもや高齢者以外の層、特に青少年に向けた取組を期待します。
- 中央図書館基本方針の9つの方向性が全図書館でバランスよく取り組まれていて良かった。方向性は同じでも、内容は各館によってまちまちなのが面白いと思いました。堺市こども読書活動推進計画が2月に改訂されたので、時代に合ったこども向けの企画を期待します。
- 次年度に向けての要望は、地域特性を明確化した“館ごとの強み”を戦略化し、若年層向けには学校連携のさらなる強化、高齢者向けには地域支援センターなど外部機関との連携を勧めていただければと思います。そして、各区の評価表の記載方法についてですが、定員、参加者数、継続率、利用増加率など成果指標の明確化をお願いします。

【資料】 図書館活動実績

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(前年度比)
予算				
図書館費（円）	525,905,000	521,805,000	578,335,000	110.8%
市民一人当たりの図書館費（円）	650.5	648.9	722.2	111.3%
資料費（円）	92,728,000	93,281,000	93,725,000	100.5%
うち図書購入費※1	80,000,000	80,000,000	80,000,000	100.0%
うち新聞・雑誌・追録等資料購入費	12,728,000	13,281,000	13,725,000	103.3%
市民一人当たりの資料費（円）	114.7	116.0	117.0	100.9%
オンラインデータベース使用料（円）	3,748,756	4,072,540	4,226,860	103.8%
資料収集				
蔵書点数（点）※2	1,912,227	1,914,817	1,915,461	100.0%
うち視聴覚資料蔵書点数	20,508	20,744	17,905	86.3%
市民一人当たりの蔵書点数（点）	2.4	2.4	2.4	100.0%
受入点数（点）※2	43,400	42,995	43,443	101.0%
除籍点数（点）※2	43,891	40,597	43,304	106.7%
蔵書更新率（％）	4.6	4.4	4.5	103.7%
雑誌タイトル数（点）※2	1,182	1,131	1,138	100.6%
オンラインデータベースタイトル数	9	9	9	100.0%
利用サービス				
開館日数（中央図書館のみ・日）	307	311	310	99.7%
職員数（人）	163	168	167	99.4%
来館者数（施設利用者数・人）	1,771,237	1,818,574	1,815,140	99.8%
登録者数（人）	352,005	361,648	370,512	102.5%
新規	11,634	11,586	10,712	92.5%
うち大阪市相互利用	148	187	168	89.8%
うち泉北地域4市1町相互利用	192	178	205	115.2%
うち大阪狭山市相互利用	165	189	130	68.8%
登録団体数	823	831	856	103.0%
新規	17	20	23	115.0%
貸出点数（点）※2	3,810,789	3,751,174	3,634,637	96.9%
個人貸出点数※2	3,770,617	3,713,776	3,593,521	96.8%
うち協力貸出点数（貸出＋借受）	11,694	12,017	11,118	92.5%
うち大阪市相互利用	18,260	20,255	21,984	108.5%
うち泉北地域4市1町相互利用	15,090	13,574	12,772	94.1%
うち大阪狭山市相互利用	12,370	12,082	11,590	95.9%
団体貸出点数	40,172	37,398	41,116	109.9%
市民一人当たりの貸出点数（点）	4.7	4.7	4.5	95.7%
蔵書回転率（％）	2.0	2.0	1.9	95.0%
予約点数（点）※2	1,191,297	1,188,378	1,146,790	96.5%
市民一人当たりの予約件数（件）	1.5	1.5	1.4	93.3%
複写枚数（枚）	38,815	31,490	35,022	111.2%
レファレンス受付件数（件）	72,122	72,799	62,906	86.4%
市民の声の受付件数（件）	49	53	58	109.4%
司書を講師派遣した人数（人）	24	32	16	50.0%

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	(前年度比)
	オンラインDB利用件数（件）	35,636	62,373	45,667	73.2%
	HPトップページアクセス数（件）	2,314,399	2,384,381	2,263,451	94.9%
	インターネット蔵書検索システムトップページアクセス回数（回）	1,942,266	2,531,164	7,808,910	308.5%
	電子書籍貸出点数（点）	21,733	20,872	18,581	89.0%
	電子書籍閲覧点数（点）	59,731	57,015	53,731	94.2%
	電子書籍予約点数（点）	7,382	7,382	6,664	90.3%
	Webでの貸出期限延長点数（点）	448,162	454,690	452,363	99.5%
	Webでの予約点数（点）	957,923	996,393	962,839	96.6%
	自動送信メールによる情報発信回数（回）※3	721,865	716,220	696,954	97.3%
地域資料サービス					
	地域資料蔵書点数（点）	116,008	117,924	124,718	105.8%
	地域資料レファレンス受付件数（件）	4,666	5,521	5,069	91.8%
	デジタルアーカイブ点数（点）	2,291	2,424	2,585	106.6%
	貴重資料の利用点数（点）	191	268	248	92.5%
	行政資料受入点数（点）	772	1,185	1,042	87.9%
児童サービス					
	児童書蔵書点数（点）※2	517,783	518,962	515,498	99.3%
	児童書貸出点数（点）※2	1,515,177	1,472,401	1,411,767	95.9%
	児童のみ登録者数（人）※4	25,124	23,912	22,546	94.3%
	学校園への貸出点数（点）	13,868	18,188	18,692	102.8%
	図書館見学来校数（校）	54	47	48	102.1%
	定例のおはなし会・読み聞かせ会実施回数（回）	593	619	625	101.0%
	定例のおはなし会・読み聞かせ会延べ参加人数（人）	5,704	7,042	7,855	111.5%
	「子ども読書の日記念事業」等学校訪問対象生徒・児童数（人）	378	552	813	147.3%
	学校図書館訪問校数（校）※5	11	3	3	100.0%
	ふるさと納税事業 親子で読書貸出パック数（パック）※6	149	115	115	100.0%
	ふるさと納税事業 親子いっしょにえほんひろば 実施回数（回）※7	11	16	21	131.3%
	「絵本から広がる家庭での親子ふれあい事業」実施回数（回）	35	97	102	105.2%
高齢者・障害者サービス					
	対面朗読室利用回数（回）	94	126	135	107.1%
	1カ月貸出延利用者数（人）	6,144	6,098	6,415	105.2%
	点字図書館への貸出点数（点）	58	36	20	55.6%
	大活字本蔵書点数（点）	5,128	5,287	5,529	104.6%

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(前年度比)
その他				
司書資格保有率（正規職員）（％）	80.3	76.1	81.6	107.2%
広報媒体掲載・情報提供件数（件）	195	206	206	100.0%
うち市広報掲載件数	148	164	135	82.3%
うち報道提供件数	4	7	5	71.4%
市民との協働事業実施回数（回）	406	378	815	215.6%
うち堺図書館サポーター倶楽部	379	354	718	202.8%
うち堺メモリー倶楽部	18	15	88	586.7%
うち堺図書館ビブリオバトル倶楽部	9	9	9	100.0%
市民との協働事業延べ参加人数（人）	1,393	1,563	2,306	147.5%
うち堺図書館サポーター倶楽部	1,190	1,378	2,133	154.8%
うち堺メモリー倶楽部	80	53	-	-
うち堺図書館ビブリオバトル倶楽部	123	132	173	131.1%

※1 ふるさと納税(図書館児童資料充実事業指定寄附金)を含む。

※2 青少年センター図書室及び人権ふれあいセンター舳松人権歴史館人権資料・図書室を含めた令和7年度の
数値は以下のとおり

蔵書点数:1,972,637点 受入点数:44,897点 除籍点数:44,076点 雑誌タイトル数:1,186タイトル

貸出点数:3,751,749点 個人貸出点数:3,710,625点 予約点数:11,154,951点 児童書蔵書点数:533,492点

児童書貸出点数:1,454,417点

※3 新着お知らせメール、予約割当通知、督促、返却期日通知などの送信数。

※4 14歳以下の登録者数。

※5 学校教育部が行う各小中学校への巡回訪問の同行数と学校教育部と連携した選書支援のための訪問数の合計。

※6 指定寄附金をもとに各年齢(0～5歳)が楽しめる絵本を購入。市内各地域で活動している子育てサークル等を
対象として、20冊セットの絵本パックを貸出。

※7 指定寄附金をもとに市内各地域で活動している子育てサークル等を対象として、司書が絵本パックを持参し、
こどもの発達段階に応じた絵本の選び方や楽しみ方について啓発を行う。